

# 収入見込額の申立書（扶養義務者等用） 【家計急変者】

**記載例**

○「子育て世帯生活支援助け給付金（ひとり親世帯用）」、「収入見込額の申立書（申請者本人用）」  
 ○下記にある【**扶養義務者等が複数いる場合は、全員分の申立書の提出が必要です。**】  
 ※申請者本人の年間収入見込額も勘案して支給を決定します。

①申請者と生計を同じくする方の属性にチェック（）の上  
 父母  祖父母  子

申請者から見た続柄にを入れてください。  
 大学生等が無収入であっても本給付金の対象年齢以上の子どもは扶養義務者として申請をいただくので、こちらの書類の記入が必要です。

氏名 **中央 夏子**

令和2年2月分以降で、可能な限り申請月に近い月の収入を記入してください。

②令和2年2月以降の任意の月の収入（1か月）の内訳及び

令和 <u>4</u> 年 <u>5</u> 月		注意事項		
収入内訳	給与収入【a】	0	円	※給与収入がある場合にご記入ください。 ※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	事業収入又は不動産収入【b】	0	円	※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。 ※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。
	年金収入【c】	5 0 0 0 0	円	※公的年金収入がある場合にご記入ください。 ※遺族年金・障害年金などの非課税の年金等も含まれます。 ※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額が分かる書類をご提出ください。
	収入合計額【a + b + c】	5 0 0 0 0	円	※青枠の収入額の合計額をご記入ください。

※上記以外の収入については記載不要です。

**A+B+Cの合計を記入してください。**

③②の収入合計額を12倍した金額をご記入ください。

年間収入見込額 **6 0 0 0 0 0** 円

給付金受給可否の判断材料となりますので、誤りのないようご注意ください。

④①の方が生計を同じくし養っている親族の氏名をご記入ください。【☆】

	ふりがな	該当する場合は○		ふりがな	該当する場合は○
	氏名	70歳以上（配偶者以外）の親族		氏名	70歳以上（配偶者以外）の親族
1			4		
2			5		
3			6		

⑤④でご記入いただいた人数にチェックをしていただき、要件に該当するかの計算をしてください。

④の人数にチェックしてください。		基準額	【要件チェック】	
<input checked="" type="checkbox"/>	人数		i	左側で選択した基準額
<input checked="" type="checkbox"/>	0人	3,725,000円		<b>3,725,000</b> 円
	1人	4,200,000円	ii	④の○の数×60,000円
	2人	4,675,000円		(○以外の氏名がない場合は、○の数を1つ減らして計算)
	3人	5,150,000円		<b>収入基準額 (i + ii)</b>
	4人	5,625,000円		<b>3,725,000</b> 円
	5人	6,100,000円		∨
	人	円		<b>年間収入見込額 (③)</b>
				<b>600,000</b> 円

※6人以上いる場合は、1人増えるごとに475,000円を加算した金額をご記入ください。

→ **【要件】③の年間収入見込額が収入基準額より低いこと。**  
 ※【要件】を満たさない場合でも、「所得見込額申立書」の要件を満たすことにより支給の対象となります。

(次ページに続きます。)

【確認事項】（各項目のチェック欄（□）に『✓』を入れて頂き、氏名をご記入ください。）

- 【要件】に該当します。  収入額が分かる書類（給与明細書や年金額改定通知書等）を提出しています。
- 今後1年間に収入の多い時期がある、臨時の収入がある時期があるなどの事情により、今後1年間の収入見込額が収入基準額を上回ることが明らかであるものではありません。
- 給付金の支給要件の該当性等を審査等するため、区が必要な扶養義務者の住民基本台帳情報や税情報、公的年金情報等の公簿等の確認を行うことや必要な資料の提供を他の行政機関等に求める・提供することに同意します。
- 本申立の内容に相違ありません。

令和 ● 年 ● 月 ● 日

申請者氏名 中央 花子 ※

扶養義務者氏名 中央 夏子 ※

※氏名欄は自署してください。

必ずすべての確認事項にが必要です。  
また本人署名及び扶養義務者署名がない場合は一度申請書をお返し、再度ご記入いただく場合もあるので、必ず記入をお願い致します。  
扶養義務者の署名については、必ず扶養義務者本人が記入するようお願いします。